



会長メッセージ

No. 15

奈弓連便りも100号を迎える事になりました。編集担当も平木さん、松岡さん、伊藤さんと3代にわたって受け継がれ、ここまで続けてこられました。

当初は事務的な情報伝達の簡素化、大会等の記録を残し、連盟会員に連盟行事への関心を持ってもらう等の目的をもって発足しました。そして、その役割は十分に果たされてきたと思います。ただ、ホームページ開設に伴い、事務連絡等については、その役割も変わってきました。大会記録についても、結果はホームページに譲るとして、大会の雰囲気や、講習会の内容等の紹介はこの奈弓連便りの役割かと思えます。特に県外事業については参加者からの情報発信、報告をよろしくお願いいたします。

100号になって、さらに会員の皆さんから待たれる情報誌になる事を期待しております。

奈良県弓道連盟 会長 吉本清信

■本年度の地区指導者講習会に参加して

指導部；西浦範光

今年度は、スポーツ指導員の講習会が県連主催で開催されることを踏まえ、「指導部の役員5名が参加しなさい。」という命を受け、兵庫県立明石弓道場へ出かけました。岐阜県の高橋範先生と広島県の宮脇保博先生の熱心な指導にどっぷりと浴びてきました。

私としては、随分久しぶりにこの地区指導者講習会に参加させていただきました。そして、30名の受講生の中で後ろから3番目だったことにも、時間が随分経っていることを知らされました。

当たり前のことですが、普段の練習不足からくる皆さんの指摘を受け、改めて日々の練習がいかに大切かを知らされました。頭で理解できていても体は思うようにはいきません。特に、初日の矢渡しの第1介添で全く出来なかったことを恥ずかしく思いました。出来ないのは当然のことなのでショックはありませんが、これから県内での機会をとらえて経験していかなければならないことを痛切に感じました。

ここ数年全弓連からの新たな伝達事項はなく、あくまでも教本に書かれてある内容についてきっちりと行じることが最も大切なことであるということを知りました。また、「一生懸命弓を引くことが一番大事。」と教えていただきました。➤

七段にもなって基本的なことをしっかり理解できていない、または知らないことが多々あり、今更ながら勉強不足を露呈し、奈良県連に泥を塗ったかも知れません。ただ、一生懸命弓を引いてきました。そして、改めて研修会の必要性和ありがたさを感じるとともに、最近吉本会長がよく話される「今ここで弓を引けることに喜びを感じ、充実した時間を過ごせるようにしましょう。」というような2日間を過ごしてきました。

この機会を与えて下さったことに感謝し、県内の方々にいろいろな機会にお返しできればと思います。ありがとうございました。

■範士研修会に参加して

範士八段 吉本清信

7月8日から10日まで、長崎市で平成22年度範士研修会が行われました。98歳の森永先生をはじめ、96歳の井上先生、92歳の野呂先生等の姿も見え、総勢26名が参加しました。

主管の長崎県連、鴨川先生の気配りの行き届いた準備のもと、充実した研修会を体験してきました。

いくつになっても弓への情熱が衰えない先輩範士の生き生きとした姿に接して、これが弓の魅力かと、あらためて教えられてきました。

■中日本女子講習会

報告者： 松村 由喜子

6月26日、27日 名古屋市日本ガイシスポーツプラザ弓道場にて、中日本女子講習会に参加させていただきました。悪天候の上、蒸し暑い中での講習会でしたが、新潟から和歌山まで中日本の府県各三名、(奈良からは深田教士六段、明瀬錬士五段、松村錬士五段が参加)総勢44名、皆、真剣に取り組み、充実した講習会となりました。

主任講師の中川慎之先生からは、段位によつてのキャリアの差は、明確に射に現れる。審査を受審し、場数を踏む事が必要。角見の利いた手の内を作る事など、細かな指導をいただきました。久田先生、大恵先生からも、弓倒しが出来てない。縦線が伸びていないと、厳しいご指摘をいただきました。受講生は先生方の一言々々を聞きもらすまいと、メモをとりながら看取り稽古、射技研修に励みました。また、今回の講習会では、公認スポーツ指導員についての講和もあり、これからの武道振興のためには、あらゆる知識を身につけていかなければならない事を痛感しました。初めての参加でしたが、受講生のみなさんとも交流でき、講師の先生方、お世話になった愛知県弓道連盟のみなさんには感謝の気持ちでいっぱいです。この経験を生かし、少しでも、皆さんに返せるよう、努力して行きたいと思っております。

◆第16回 布目弓道大会

平成22年6月19日 布目弓道場英明館
報告：井戸上 博一

17年前から毎年開催されてきた本大会も、昨年は工事のために開催できませんでした。本年はその工事も完成し、道場後方に宿泊施設兼更衣室を備え、また矢道の芝桜も植え替えられるなど、リニューアルされた弓道場での開催となりました。梅雨時ということで心配された天候も、当日は時折晴れ間も覗く空の下、平素は静かな高原の村に、県内弓友の熱き弦音の響く一日となりました。

午前中は、吉本清信範士による矢渡（第一介添：西浦範光教士、第二介添：西田ゆり錬士）、藤岡順錬士・吉本清巳錬士・吉岡三保子錬士による演武（持ち的射礼）に続き、弓道教室の部の競技が行われました。一手五回色的を狙い点数を競う中、優勝の栄冠は地元布目弓道教室の今中選手に輝き、生駒市から参加した山下兄妹が二位三位を分け合う結果となりました。

西中正教士・西浦範光教士による演武（一つの射礼）の後昼食。午後はいよいよ第一部の競技の開催となりました。これは、五段以下（57名参加）の射手を称号者（20名参加）が採点する採点制と、一手2回の的中を競う的中制に分かれます。採点制は、各段位毎に75点を基準とし、射手と採点者の相互研修を目的とする布目方式です。武宮誠（初段）さんが最高得点1512.9を獲得しました。続いて蔵地隆文四段1510.7、山口亮二五段1496.4。的中制では4射皆中者4名による射詰競射の結果9合目において吉本清信範士が優勝しました。吉本先生のご病気の快癒を喜ぶごとく、満場に拍手が響きました。

後片付けが終了し、公民館で表彰式を終え、歓談するころ、我慢に我慢を重ねた梅雨空から大粒の雨が滴り落ちました。

狭い道場の為に、入退場等で心配されるところもあり、また、前日雨天のためテントを張れないなど準備不足の点もありましたが、皆様方のご協力により、思いの他スムーズに競技を運営することができました。感謝申し上げます。

◆入賞者

【第一部：採点制】	【第一部：的中制】
最優秀賞：武宮 誠	優勝：吉本 清信
優秀賞：蔵地 隆文	2位：西田 ゆり
優秀賞：山口 亮二	3位：新子 修平
【第二部（弓道教室）：得点制】	
優勝：今中 昭太郎（34点）	
2位：山下 凱生（24点）	
3位：山下 雲花（18点）	

<最優秀賞を獲得した武宮 誠さんから>

奈良市弓道協会と東京大学弓道同好会の武宮誠です。私は米国人ですが、一昨年来日して以来、様々な日本の文化や伝統に親しんでいます。その中でも特に弓道が大のお気に入りです。今回の第16回布目弓道大会で技能最優秀賞を頂けたことは、大変光栄なことで、今後の稽古の励みになります。

大会の当日は、非常に蒸し暑い天気でしたが、他の参加者の方々の誠心誠意弓を引かれる様子が励みになり、私も気を引き締めて弓を引くことが出来ました。また、布目弓道場は、多くの先生方が練習されており、私にとっての弓道の聖地と思っています。このような場所で、弓を引けたことは大変名誉なことです。偉大な先生方に近づけるよう、これからも稽古に精進していきたいと思っています。

■第一回伝達講習会 報告

報告：吉岡 三保子

6月13日 奈良市弓道場にて開催
「主任講師」西浦範光 「講師」明瀬憲正・吉岡三保子
参加者65名（四段13名五段23名称号者29名）

梅雨というのに天候にもやや恵まれて1日が始まりました。

奈良県弓道連盟 吉本会長の先導で拝礼、講習会のご挨拶をいただき、その後礼記射義・射法訓の唱和 続いて 射手・主任講師、受講生の介添えによる矢渡しが行われました。

経験が少なければ形だけに流れてしまいがちの様々な所作動作も経験を重ねることで身につけ射手への気も、第一・第二介添えともより強く送ることができるのではないかと思います。

主任講師より伝達事項の説明（弓全般の基本の重視、着装、スポーツ指導員養成など）があり、その後 受講者の一手行射、午後からは予定を変更して有段者は持ち的射礼、称号者は一つの射礼を二射場に分かれて行いその中の体配、射技指導となりました。

今までにない65名という多数の参加者でしたので、個々への指導も限られた時間では充分行き届かず申し訳なく思っています。

暑い日々ですが伝達講習会に参加出来ない方々への内容の伝達を宜しくお願い致します。

速報

全日本弓道選手権大会 近畿地区代表選手選考会が7月18日、明石市の兵庫県立弓道場で行われ、西中 正教士6段 吉本 清己錬士6段が選ばれました。女子は残念でした。

◆第22回全日本選抜学生選手権大会に出場

天理大学 弓道部監督 久保善宣

前年度リーグ戦は男子は3勝1敗で3部残留でしたが的中率69.8%で関西ベスト12の中に入り、全日本大会に選抜され、奈良県弓道連盟の推薦も受け6月27日明治神宮の大会に出場しました。

これに先立ち、3月末に天理で2泊3日に合宿を行い、射技と共に全日本弓道連盟の体配の練習を行いました。

この大会は、全日本弓道連盟主催の大会なので体配は全日本弓道連盟の体配に違反すると的中上位でも失格となります。天理大学は通常の試合では、天理大学に伝わる大和流の体配で行射しているの体配を合わせることに神経を使うと的中に影響すると考え先ず5人の体配の呼吸を合わせることを眼目に練習に取り組みました。

大会予選は17中で3位タイで通過し、決勝トーナメント(16チーム)に進みました。

決勝は、2本競技で慶応大学と対戦し4中対9中で1回戦で敗退しました。

この大会を迎えるにあたり、6月12日、天理の自主研修会の貴重な時間に会長の吉本先生から体配その他懇切なご指導をいただき、また激励の言葉もいただきました。

このことは学生にとっては、大きな自信と励みになり、決勝では敗退しましたが、予選での好成績につながったと感謝しています。また研修会参加の皆さまからも暖かい励ましの言葉をおかけいただき有難うございました。紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

8月に行われる全日本学生選手権大会個人予選でも男子、6名、女子1名が予選を通過しました。団体、個人共に頑張りたいと思っていますので今後ともよろしくご指導くださいますようお願い申し上げます。

◆第57回全日本勤労者弓道選手権大会

6月11～13日 山口市、山口県立弓道場

初出場の新生東洋スクリーン工業チーム(前角、浅井、穩地)の前角さんからの報告です。11日14時前に会場に到着、シャープチームと合流。着替え、巻き藁後公開練習を本会場で行う。➤

その後、予定通り16時半より開会式が行われた。翌12日は朝から会場入り、巻き藁や会場の見学。昼食後、最終調整を行う。14時過ぎ予選を戦う。結果6中。あと1本足りず予選落ちとなる。その後シャープチーム(井上、藤本、中島)が登場。その戦いを応援するもシャープチームも5中で予選敗退。

<前角さんから：東洋スクリーン工業弓道部は21年度内に社員の弓道経験者が3人となり弓道部を発足させ、予選に出場、本大会に参加させていただき私はもちろん、経験の浅い浅井・穩地はこのような大きな大会は初めてで、他のチームのレベルの高い射や体配を中継や観客席等で見せてもらいよい見取り稽古も出来ました。当部は部員が3人のため1人でも状況が変われば、来年がどうなるかわからない危険な面を持っておりますが、今回の経験を活かしやれるところまで頑張りたいと思っております。>

<シャープの井上さんから：シャープ弓道部 チームが出場させていただきましたが、12射5中の成績で残念ながら予選を通過することができませんでした。様々なご支援を頂きながら不甲斐ない結果となりましたが、反省すべき点は反省し、来年の出場と予選突破を目指して今から練習を重ねてまいります。今後ともご指導、ご支援の程、何卒よろしくお願い申し上げます。>

◆2010県民体育大会

(7月4日 橿原公苑弓道場)

▽都市対抗戦

年男子の部：

団体：①橿原市(長濱、原田、前角)②大和郡山市(松本井上、藤岡)③奈良市(一瀬、栗栖、矢野)

個人：①長濱正伸(橿原市)②山口亮二(生駒市)③藤岡順(大和郡山市)

年女子の部：

団体：①橿原市(東中、小野、長濱)②桜井市(仲尾、吉岡、明崎)③奈良市(西田、松澤、平井)

個人：①長濱有美(橿原市)②仲尾瞳(桜井市)③平井摂子(奈良市)

▽オープン競技

成年男子個人：①武宮誠 ②齊藤頭一 ③山下朝慈

成年女子個人：①林美佳 ②西田祐子 ③鷲尾佐和子

熟年：①西川義春 ②土居誠 ③朝吹一隆

編集子：大きなマイルストーンである100号を記念するに相応しく大変興味ある投稿が多く寄せられ、編集子としては久しぶりに嬉しい悲鳴でした。発行間際には、全日に奈良から更に2名出場権を得たとの嬉しいニュースが飛び込んできました。そんなこともあって、投稿いただいた内容も少し割愛せざるを得なかった部分もでてきましたが、悪しからずご了承をお願いします。